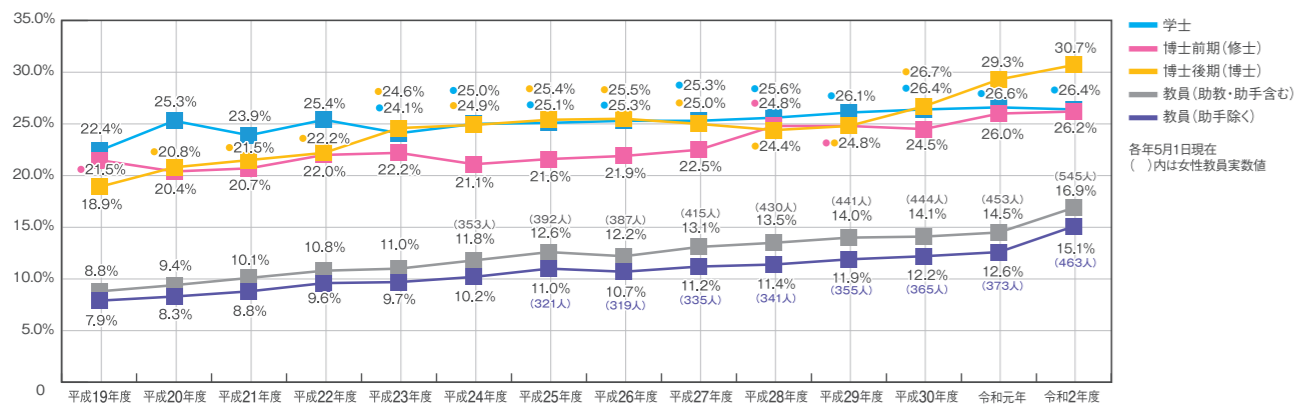


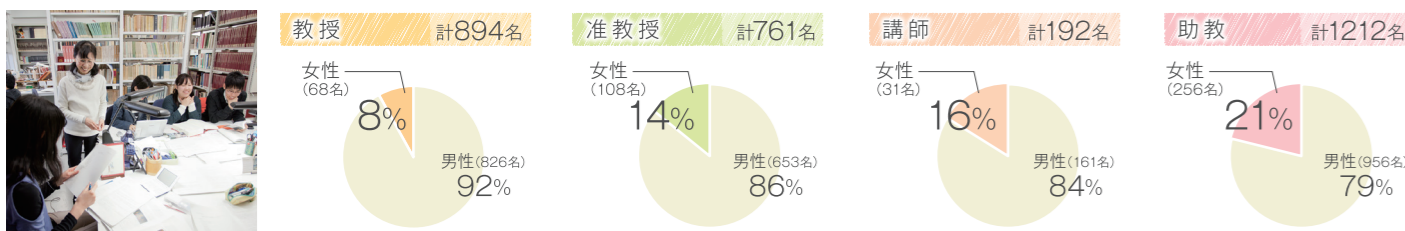
東北大学における男女共同参画の現状

在籍教員・学生の女性比率

東北大学では文部科学省の女性研究者支援事業による支援や独自経費(総長裁量経費「男女共同参画・女性研究者支援事業」)による女性研究者に焦点を当てた取組により、女性教員数は着実に増加していますが、国立大学全体の平均から見ると遅れをとっている現状にあります。



男女構成比 (令和2年5月1日現在)



さらなる男女共同参画推進のために

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業 (平成28年度～令和3年度)

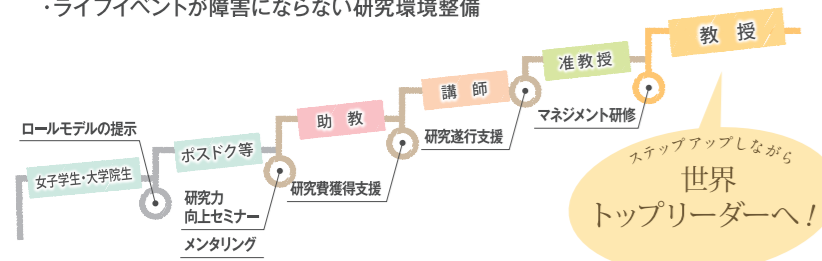
「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」では、以下の6つの取組を行い、ダイバーシティ研究環境実現の達成を目指します。

- 推進体制の確立
- 女性研究者の採用と上位職への積極的登用に向けた取組
- ダイバーシティ研究環境整備のための取組
- 女性研究者の研究力向上およびリーダー育成の取組
- 次世代の女性研究者育成の取組
- ダイバーシティ研究環境整備に関する意識醸成と広報活動

事業の特色

各キャリア段階にあった多様な取り組みにより女性研究者の研究業績向上及び女性リーダー育成に寄与する仕組みを構築します。

- ・上位職への採用と登用
- ・女性研究者に特化したURAによる研究力向上と研究遂行支援
- ・ライフイベントが障害にならない研究環境整備



事業の目標

以下の5つの目標を達成するために行動計画に従って、ダイバーシティ研究環境を実現するための取組を進めていきます。

- 目標1 女性教員在籍率19%を目指す。
- 目標2 新規採用教員に占める女性比率30%を目指す。
- 目標3 教授・准教授の女性比率10%を目指す。
- 目標4 役員等での女性比率10%を目指す。
- 目標5 女子学生の研究者志望への意識向上および男性も含めた人的ダイバーシティへの意識醸成を行う。

学内保育園／軽症病児・病後児保育施設

川内けやき保育園

月曜日～土曜日 8:00～19:00
(祝祭日及び年末年始の休日を除く)
※延長保育一時保育も行なっています。



定員 / 30名
対象 / 教職員、学生

www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/hoiku/keyaki.html

星の子保育園

毎日 7:15～18:15
(年末年始の休日を除く)
※延長保育・終夜保育(月・金)一時保育も行なっています。



定員 / 120名
対象 / 星陵地区部局に所属する職員等

www.hosp.tohoku.ac.jp/hoshinoko

青葉山みどり保育園

月曜日～土曜日 8:00～19:00
(祝祭日及び年末年始の休日を除く)
※延長保育一時保育も行なっています。



定員 / 116名
対象 / 教職員、学生

www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/hoiku/midori.html

星の子ルーム (軽症病児・病後児保育)

発熱等の症状があり、集団生活が困難な体調不良の生後6ヶ月～小学4年生が利用できます。(かかりつけ医が必要)



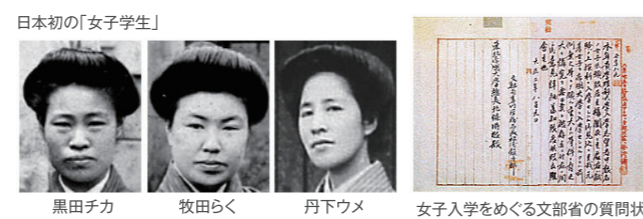
月曜日～金曜日 7:30～18:00
(祝祭日及び年末年始の休日を除く)

対象 / 教職員、学生

東北大学における女子学生の歴史

東北大学は、日本初の「女子学生」が誕生した大学です。東北大学が誕生した明治末頃の日本の大学は、旧制高校を卒業した男子学生のための学校であり、正規の学生身分で女性が大学に入学することは考えられていませんでした。

ところが、大正2年(1913)にその「常識」を破る事件が起こりました。創立間もない東北帝国大学が、独自の判断で4人の女性の受験を認めたのです。



黒田チカ 牧田らく 丹下ウメ 女子入学をめぐる文部省の質問状

入学試験のさなか、文部省は「元来女子を帝国大学に入学せしむることは前例これ無きことにて頗る重大なる事件にこれあり大いに講究を要し候」云々と事情説明を求める書簡を大学に送りますが、大学は委細かまわず、黒田チカ、牧田らく、丹下ウメ3人の合格を発表、ここに日本初の「女子学生」が誕生することになったのです。

3人の女子学生ははがて卒業して女性初の「学士」となり、その後も副手や大学院生として数年間大学での研究生活を送りました。



男女共同参画推進基金へのご協力をお願い

東北大学では女性研究者のスキルアップやキャリアアップ、研究と育児の両立、次世代育成などの支援や学内保育園環境の充実、伝統の継承等を行うための募金をお願いしております。

【寄附の方法・特典などに関するお問い合わせ先】
東北大学基金事務局 (東北大学総務企画部基金・校友事業室基金係)
〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

T E L : 022-217-5058-5905
E-mail : kikin@grp.tohoku.ac.jp
U R L : <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/>



TUMUGメーリングリストに登録しませんか?

本センターでは、支援制度やイベントの最新情報をメーリングリストでいち早くお届けしています。新規登録も随時受付中です。右QRコードよりは是非ご登録ください。



「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「新く」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして拡がっていくことを目指しています。



東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp
WEB <http://tumug.tohoku.ac.jp/>



発行日 2021年3月



東北大学 男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion



東北大学における男女共同参画

センター挨拶

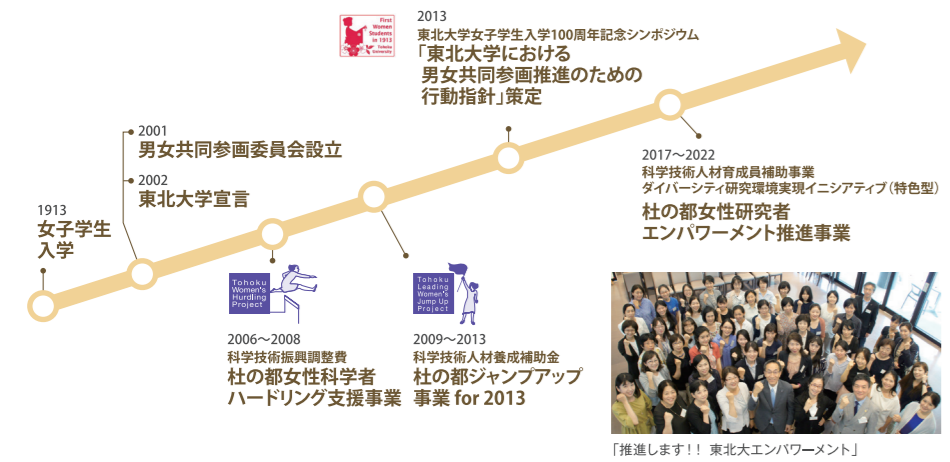
東北大学は大正2年(1913年)、当時の国立大学として初めて女性に門戸を開き、3名的女子学生の理学部への入学を認めました。その伝統のもと、平成13年に全国に先駆けて、全学的組織として男女共同参画委員会を発足させ、翌年の平成14年に「男女共同参画推進のための東北大学宣言」を策定し、男女格差の是正、研究・労働環境の改善、学内保育園の設置・運営を含めた両立支援体制の充実などに努めてまいりました。

平成18年度から男女共同参画の推進施策の充実に加え、特に女性研究者の支援を目的として「女性研究者育成支援推進室」を設置し、文部科学省の支援事業として採択された「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」(平成18年度～平成20年度)及び、「杜の都ジャンプアップ事業for 2013」(平成21年度～平成25年度)を実施してまいりました。平成26年度からはこの成果を踏まえ、大学独自の予算でこれらの事業を継続しています。さらに平成28年度には、文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に本学の「杜の都女性科学者エンバワメント推進事業」が採択されたことを契機に、今後ますます女性研究者が活躍できる環境を整備していく所存です。

また、平成25年(2013年)には、日本初的女子学生が入学してから100年を迎えたことを記念して、「男女共同参画推進のための行動指針」の策定及び発信、並びに記念シンポジウムの開催などの行事を展開しました。本学におけるこれまでの男女共同参画の歴史を振り返り、次の100年に向けた取組として、これまでの女性研究者育成支援推進室を発展的改組し、本学全体の男女共同参画活動を円滑に推進することを目的とした「男女共同参画推進センター(TUMUG)」を設置することとなり、平成26年4月に発足いたしました。

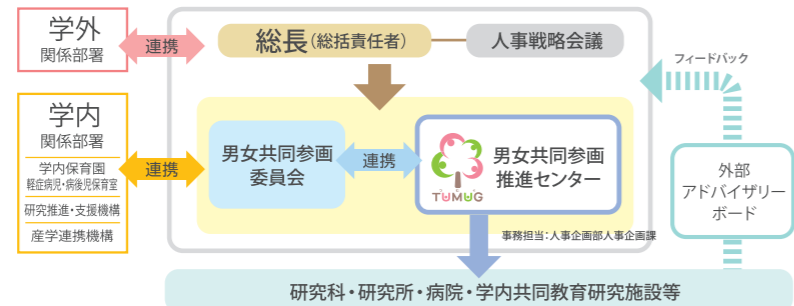
今後も様々な取組を通じて男女共同参画の推進に励んでまいりたいと存じます。どうぞ皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

これまでの取組と成果



推進体制

ダイバーシティ研究環境整備に向けた取組を行う本事業は、総括責任者である総長の下に組織する人事戦略会議において女性研究者増に向けた取組等の施策を検討し、男女共同参画委員会及び男女共同参画推進センター(TUMUG)が連携して行います。事業及び本学における男女共同参画の取組全体の妥当性および進捗状況については、外部有識者により構成されるアドバイザリーボードから専門的かつ中立的な助言を受けます。



東北大学における男女共同参画推進のための行動指針

1. 両立支援・環境整備

本学構成員が、年齢性別等を問わず、仕事や学業と生活との両立を図ることができるように、意識の醸成に努め、子育て支援のための学内施設の充実や介護支援を含めた制度等の環境整備と周知を進める。

2. 女性リーダー育成

アカデミアにおける男女共同参画の推進に向けて、女性研究者を積極的に採用・養成し、さらに学内および学会・社会のリーダーとして飛躍させるための支援・登用制度を整備する。

3. 次世代育成

将来性豊かな次世代女性研究者を輩出するために、サイエンス・エンジェル(SA)活動を継続・発展することなどにより、学部生・大学院生を対象とした研究者使命の意識啓発と醸成に努め、さらに実験を通して育成する施策を推進する。

4. 顕彰制度

アカデミアにおける男女共同参画の先駆として、各分野で活躍し多大な貢献をなした方々を選考し顕彰するため、新たな「東北大学男女共同参画賞」を創設する。

5. 地域連携

東北地方の中心に位置する大学として、東北地方の多くの大学、行政機関等との連携を進め、地域発展や震災復興事業等における男女共同参画を推進する。

6. 国際化対応

ワールドクラスへの飛躍に向けて、グローバルな研究・教育体制に相応しい、外国人研究者・留学生を対象とした様々な両立支援策を講じ、国際的観点に基づいて学内の男女共同参画を推進する。

7. 支援推進体制

上記の男女共同参画活動を円滑に推進するために、男女共同参画担当理事(若しくは副学長)と総長特別補佐(男女共同参画担当)を置き、さらに「男女共同参画推進センター」などの恒常的支援体制を整備する。

男女共同参画推進のための取組

TUMUG 支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)

東北大学では、「両立支援・環境整備」「女性リーダー育成」「次世代育成」について、TUMUG 支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)として、6種のプログラムを実施しています。

研究支援要員

両立支援 女性リーダー育成

内容 研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助

対象者 出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女)*1
国の審議会委員等の要職に就く女性教員・技術職員*1

スタートアップ研究費

女性リーダー育成

内容 新規採用の女性教員に、研究スタートのための研究費を支援

対象者 新規採用の女性教員(助教以上)*1*2

ベビーシッター利用料等補助

両立支援

内容 研究・教育と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助

対象者 育児を行う教員、技術職員、ポスドク、博士学生等(男女)

ネクストステップ研究費

女性リーダー育成

内容 新規の研究課題の遂行や、研究成果の公開に必要な研究費の支援

対象者 女性教員(准教授、講師、助教、助手)*1*2

*1 本学を本務とする者に限る(他機関を主所属とするクロスアポイントメント制度適用教員等は対象外とする) *2 当該年度に計300万円以上の競争的資金(学内経費含む)を有する者は対象外とする

みんなが働きやすい環境に!

多様で開かれた研究環境の構築!

戦略的人事によるダイバーシティ推進

新たな研究フロンティア開拓の原動力となる自由な発想が生まれる多様で開かれた研究環境の構築に向けたダイバーシティ推進・拡大を目的に、女性研究者・外国人研究者の採用を促進しています。

(1) クロスアポイントメント活用促進支援制度

内容 ダイバーシティの推進による開かれた教育研究環境等の整備のため、本学の教育・研究・社会連携の活性化に資する外国人及び女性研究者等をクロスアポイントメント制度を用いて採用した場合、人件費の本学負担額の50%を採用した部局に対して支援(上限200万円/年、2021年度まで最長3年間)

対象者 本学の教育・研究・社会連携の活性化に資する外国人及び女性研究者等(部局長等の推薦を条件とする)

(2) 若手女性・若手外国人特別教員制度

内容 独創性豊かな若手研究者の採用促進のため、学術研究員等を初めとする女性研究者・外国人研究者の中から将来性豊かな優秀な者を「助教」又は「特任助教(研究)」等として採用した場合、当該教員の人件費を採用した部局に対して支援(上限200万円/年(年間給与の1/2の額を上限とする)、2021年度まで最長3年間)

対象者 女性研究者・外国人研究者のうち、採用年度末に37歳以下でかつ博士の学位取得(見込み)の学術研究員等(部局長等の推薦を条件とする)

各制度の詳細については人事企画部人事給与課任用第一係にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 人事企画部人事給与課任用第一係 [TEL] 022-217-4826 [E-mail] nin1@grp.tohoku.ac.jp

女性優先公募

本学では、「職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用する」を教員公募要領に明記することとしています。

顕彰制度

澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞(澤柳記念賞)
澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞

アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し多大な貢献をなした方々を選考し顕彰いたします。



「澤柳記念賞」という名称は、門戸開放の理念を打ち出した初代総長・澤柳政太郎に因みます。この理念に基づき大正2年(1913年)に3名の「女子学生」が日本で初めて誕生しました。

東北大学優秀女性研究者賞
紫千代萩(むらさきせんだいほぎ)賞

東北大学において優れた研究を展開する女性研究者に対しその活躍を讃えることで、研究意欲の一層の増進に繋げ、世界トップリーダーとなるような女性研究者の育成を目的とします。同時に、本賞の授与により女性研究者の活躍を促進することで、本学の研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出に繋げることを目的とします。



各種セミナー・イベント

TUMUG CAFE

研究・教育や学業と育児・介護等の両立に関する情報提供や意見を気軽に共有できる場として開催しています。



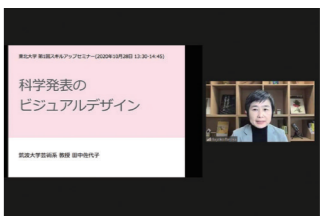
次世代セミナー

学内外で活躍する女性研究者を講師としてキャリア形成やワークライフバランスに関するセミナーを開催し、研究職の魅力を伝えています。



スキルアップセミナー

研究力向上に資するプレゼンテーション技術や外部資金獲得に関するセミナーを行っています。



女性リーダー研修

女性研究者の意欲向上と活性化を図り、上位職へのステップアップを促しています。



次世代研究者育成!



支援制度利用者の声

14歳、10歳、7歳、3歳の4人の男の子がいます。長男を出産したのが、ちょうど様々な支援制度が始まった頃でしたので、ほぼ全ての支援制度を利用してきました。「東北大学でなければ絶対にこんなにいっぱい出産できなかったなあ」と、感謝の毎日です。現在、一番お世話になっているのがベビーシッター利用料等補助です。助教、准教授、教授とポストアップするに連れ、学協会等学外でのお仕事が増え、出張もかなり多くなってきました。単身赴任の我が家ではベビーシッター無しには生活が成り立ちません。息の長い研究者になるためには学外で存在感を示していくことも大切ですので、小さなお子さんがいる皆さんも、是非ベビーシッター利用料等補助を利用して、どんどん活躍の場を広げていって下さい。

伊賀 由佳 教授 (流体科学研究所)

東北大学サイエンス・エンジェル(SA)

次世代の研究者を目指す中高生に「女性研究者ってカッコいい!」、「理系進学って楽しい!」という思いを伝えるために集結した、東北大学の自然科学系女子大学院生です。女性研究者のロールモデルとしてセミナーやイベントを開催し、科学の魅力・研究のおもしろさを伝えています。

- ・ 小・中学生や高校生に対して科学の魅力を伝えつつ、身近なロールモデルとなることを通して次世代の研究者を育成
- ・ 自然科学研究に従事する使命感・責任感の醸成・研究者の卵としてのスキルアップ
- ・ 世代や分野を超えた女子学生・女性研究者ネットワークの構築

●主なSA活動

出張セミナー

主に高校生を対象に、理系分野での研究や大学生活について、体験に基づいて話をします。



科学イベント

科学イベント等を通し、科学を身近に感じてもらえるような実験や工作を行います。



オープンキャンパス

理系進学に興味を持つ中高生の疑問・相談に答えたり、キャンパスライフについて紹介したりします。



note

研究・大学院生活・進路選択の経験や、仙台の魅力、一人暮らし事情、座談会レポートなどについて、SA自身が執筆しています。

